

全国大会報告

去る7月11日（金）～13日（日）の3日間にわたり、東京千駄ヶ谷の東京体育館において「第42回全日本武術太極拳選手権大会」が行われました。競技種目は個人・団体合わせて全38種目で、7歳から90歳まで全国から選抜された選手約1500名で競いました。

長崎県から選抜された、長与町太極拳協会の精鋭たち14名が出場し、日頃の練習の成果を競いました。32式・42式太極剣に出場した手島敦子さんが3位入賞という快挙を成し遂げられ、日頃の鍛錬の賜物と協会全員嬉しい気持ちでいっぱいです。なお、今回の快挙は長崎県武術連盟におきましても初めての事でした。この他に種目は24式太極拳、楊式太極拳、48式・88式太極拳、および集団、全部で5種目に出場し、全国トップレベルの選手達と一緒に舞台上で凌ぎを削りました。全員この日を目標に練習を重ね、ベストを尽くした大会でした。

来年の選手権を目標に、また充実した毎日が続きます。

（手島さんのコメント）

第42回全日本武術太極拳選手権大会が7月11日（金）～13日（日）東京体育館で開催されました。

今年は7歳から90歳までと幅広い世代の全国から選ばれた約1500人の選手が全国の頂点をかけて白熱の演武が行われました。

私は集団の部と個人の部（32式・42式太極剣）にエントリーし、好成績を収めることができました。

約22年に亘り、太極拳と向き合ってきた私にとって、この結果は大変感慨深く、これまで支えてくださった今崎先生や仲間への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

これからも自分の課題に向き合い、研究しながら精進していきたいと思えます。

手島敦子



集団 チーム織舞